

平成29年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成22年2月4日認定）
（最終変更平成29年12月8日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1(歴史的風致維持向上計画推進会議の開催).....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1(ひろさきビューマップ作製事業).....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1(弘前城本丸石垣整備事業).....	3
2(景観重要建造物保存修理助成事業).....	4
3(旧藤田家別邸保存修理事業).....	5
4(市役所本庁舎保存修理事業).....	6
5(鷹揚公園整備事業).....	7
6(市民中央広場整備事業).....	8
7(伝統的建造物群保存地区地方道改修事業).....	9
8(主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業).....	10
9(追手門広場改修事業).....	11
10(趣のある建物指定制度).....	12
11(弘前市民俗芸能保存育成事業).....	13
12(津軽塗技術保存伝承事業).....	14
13(集約促進景観・歴史的風致形成推進事業).....	15
14(歴史的風致の活用と国際観光の振興に関する事業).....	16
15(景観まちづくり刷新支援事業).....	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1(文化財の保存、文化財の修理・整備).....	19
2(保存・活用を行うための施設の設置、文化財の 周辺環境の保全、文化財の防災).....	22
3(保存・活用の普及と啓発).....	23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1(世紀の大改修弘前城石垣整備 天守台四隅に「イカ形」隅石)	26
2(津軽塗 重要無形文化財に).....	26
3(藤田記念庭園考古館 工芸品展示や喫茶きょう新装オープン)	26
4(弘前・高照神社内の新宝物施設名称決定 高岡の森弘前藩歴史館に 来年4月開館へ整備)	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1(景観ブース、景観フォーラムの開催).....	27
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成29年度
歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 計画策定後は、歴史的風致維持向上計画推進協議会及び歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチームを設置し、各事業者(県、市、民間事業者等)と連携しながら適切に計画を進めます。

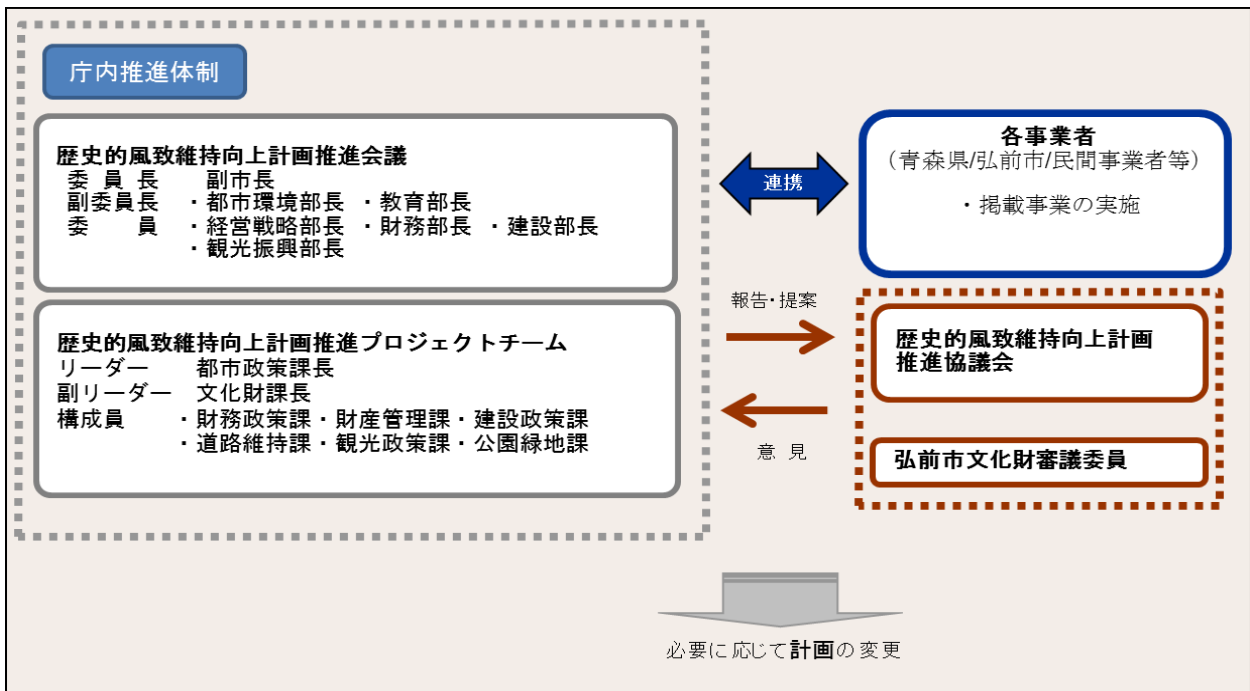
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した「歴史的風致維持向上計画推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

1. 第1回

- (1) 開催日 平成29年10月30日(月)
- (2) 議題 計画変更について

2. 第2回

- (1) 開催日 平成30年2月15日(木)
- (2) 議題 計画進捗評価について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
ひろさきビューマップ作製事業		現在の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地域資源の歴史的価値を市民一人一人が認識することは、自らのまちに誇りを持つとともに、市民レベルでの保全活動等にも繋がることから、歴史的風致を醸し出しているまちの資源を再発見できる取り組みを推進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、市内各所の施設等に設置し、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【景観ブースでの設置状況】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～平成36年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 弘前城本丸の石垣の積み直し及び重要文化財弘前城天守の保存修理の実施により、「弘前さくらまつり」に見る歴史的風致」の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は、昨年度契約の石垣解体工事について、12月9日までに約4割の石垣の解体を終えた。また、昨年度に引き続き、弘前城跡本丸石垣修理委員会及び弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会を開催し、石垣解体工事さらに今年度の発掘調査の方針と成果について報告し了承を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 調査・測量・有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【開催日時及び会議内容】

○弘前城跡本丸石垣修理委員会

- 第1回 平成29年 6月29日 平成29年度の発掘調査、石垣解体工事について
- 第2回 平成29年10月24日 平成29年度の発掘調査、石垣解体工事について
- 第3回 平成30年 3月13日 平成29年度の発掘調査、石垣解体工事について

○弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会

- 第1回 平成29年 6月29日 平成29年度発掘状況の報告

【第1回 石垣修理委員会開催状況】



【発掘調査状況】



【石垣解体工事状況】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物保存修理助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物に指定し、その保存修理に係る経費の一部を助成することにより重点区域内の良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

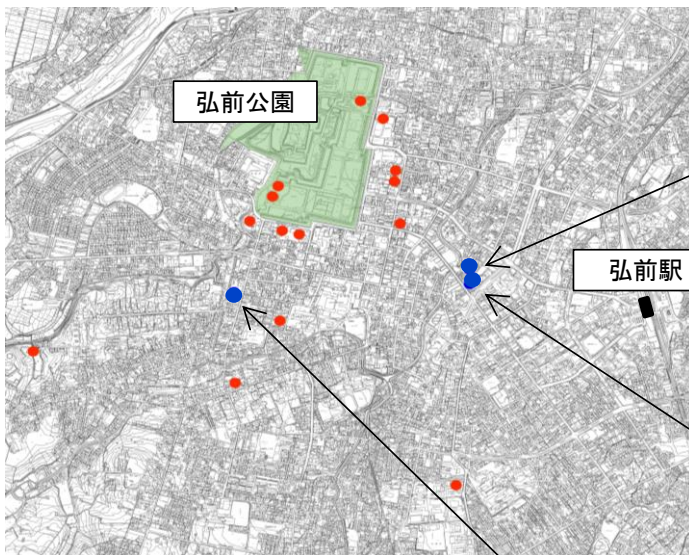
当事業の計画的な運用と今後の施策検討のため、景観重要建造物14件のうち民間所有の6件について、所有者に対し改修予定調査を実施した。また、今後の景観重要建造物への追加指定に向け、指定候補建造物3件の実測調査や図面作成等の業務委託を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等

【景観重要建造物等 位置図】



【指定候補建造物】



【凡例】

- 景観重要建造物 指定済み
- 指定候補建造物

【改修予定調査建造物】

- ・石場旅館
- ・木村産業研究所
- ・旧制弘前高等学校外国人教師館
- ・三上ビル
- ・翠明荘
- ・旧町田家住宅

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
旧藤田家別邸保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 旧藤田家別邸の洋館、和館及び考古館は、多くの市民や観光客の目に触れる施設であり、内部を公開するなど積極的に活用していますが、築後90年以上と老朽化が著しいため保存修理を行う。

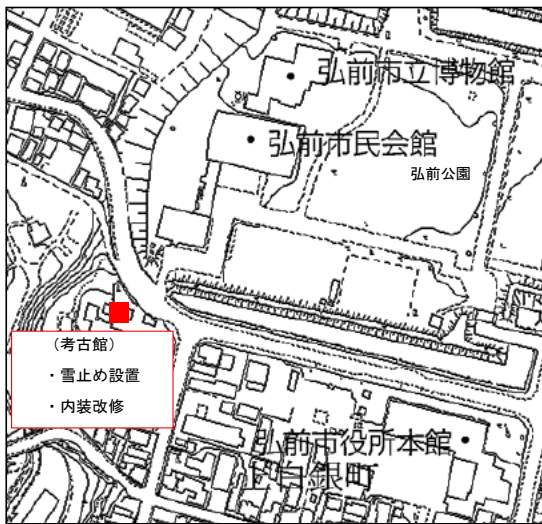
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、藤田記念庭園入園者の安全確保のため、考古館に雪止めを設置した。また、考古館の内装改修を行い、クラフトに触れることのできる休憩スペースを整備し、弘前公園周辺エリアを訪れる観光客の利便性の向上を図った。
 今年度の入園者数は、対前年比で約3,800人増の59,039人となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【旧藤田家別邸倉庫(考古館) (※改修後の通称は「匠館」)】



【クラフト展示スペース】



【雪止め設置】



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
市役所本庁舎保存修理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業、住宅・建築物安全ストック形成事業)

計画に記載している内容 市役所本庁舎は「弘前さくらまつり」や「弘前ねぶたまつり」の背景として、多くの市民や観光客の目に触れる施設だが、本館は築後50年以上、新館は築後40年以上と老朽化が著しいため保存修理を実施し、これにより「弘前さくらまつりに見る歴史的風致」や「弘前ねぶたまつりにみる歴史的風致」の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録有形文化財である弘前市庁舎本館の耐震補強工事を実施。耐震補強工事は鉄筋コンクリート造の耐震壁構築、床コンクリートのクリープ現象によるたわみの進行防止のため、鉄骨梁を床スラブ下部に設置、内装解体により亀裂の大きい梁へ炭素繊維シートの貼り付けを行った。いずれも文化財として建物が持つ価値を損なわないことを念頭において実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	モダニズム建築の意匠を後世に引き継ぐことを念頭に、登録有形文化財の佇まいを維持しつつ性能の向上(耐震・断熱・利用しやすさ)に向けた改修を施すにあたり、一部意匠を変更する必要もあり、文化財としての価値を損なわずにいかに性能向上に努めるかが問われた。

状況を示す写真や資料等

【耐震壁配筋状況】



【耐震壁コンクリート打設完了】



【床スラブ鉄骨梁による補強完了】



【炭素繊維シートによる補強完了】



【改修工事外内観状況】



【耐震補強工事外観状況】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
鷹揚公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、昨年度に引き続き二の丸周辺整備に係る本発掘調査及び二の丸利活用施設新築、本丸南馬出し石段整備、ピクニック広場トイレ新築の各工事を実施した。

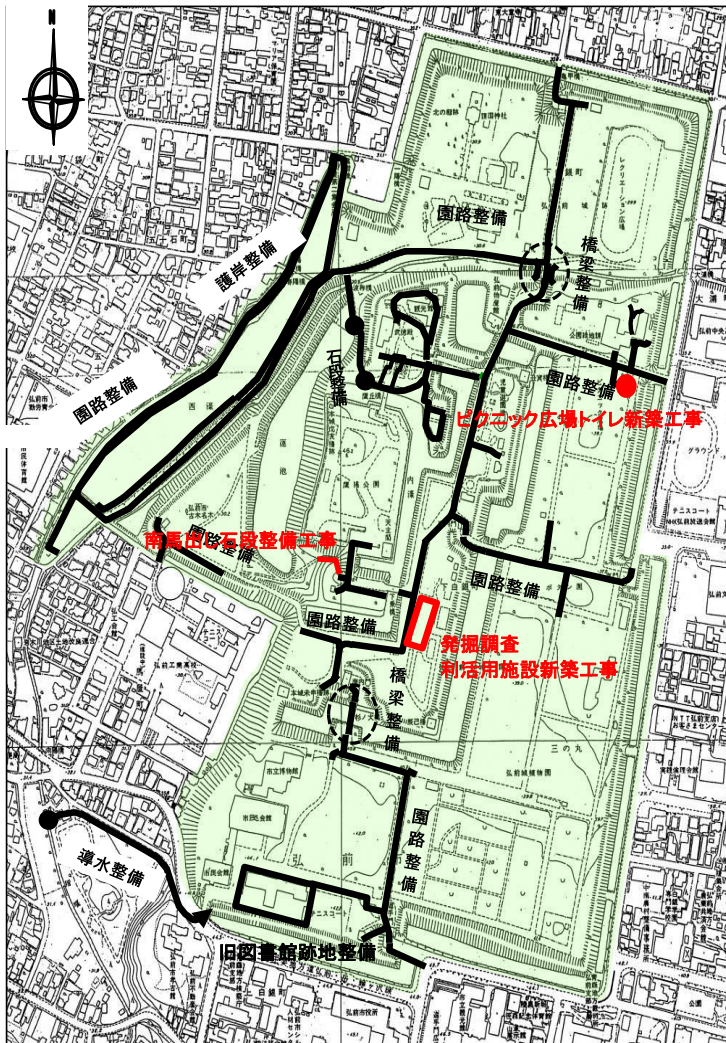
発掘面積:A=185㎡、二の丸利活用施設新築工事:N=1棟、本丸南馬出し石段整備工事:L=51.5m、ピクニック広場トイレ新築工事:N=1棟

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



H28年度迄整備 : 黒線

H29年度整備 : 赤線

【発掘調査】



【利活用施設】



【南馬出し石段整備】



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
市民中央広場整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 景観まちづくり刷新支援事業

計画に記載している内容 市民中央広場では、鷹揚公園(弘前公園)に近接し、「弘前ねぶたまつり」の時期には、ねぶた小屋が設置される多目的広場で、この広場整備により弘前公園周辺の良い景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備予定箇所の実設計、移転補償対象物件4事業所の補償費算出のための営業調査等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

建物所有者、借家人と移転時期を調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



事業箇所	
主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	
市民中央広場整備事業	既設:
	拡張予定:
	整備予定:

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物群保存地区地方道改修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 鷹揚公園(弘前公園)の北側に位置し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている仲町地区の無電柱化及び消流雪溝の整備により、弘前公園と一体となった景観形成を図る。

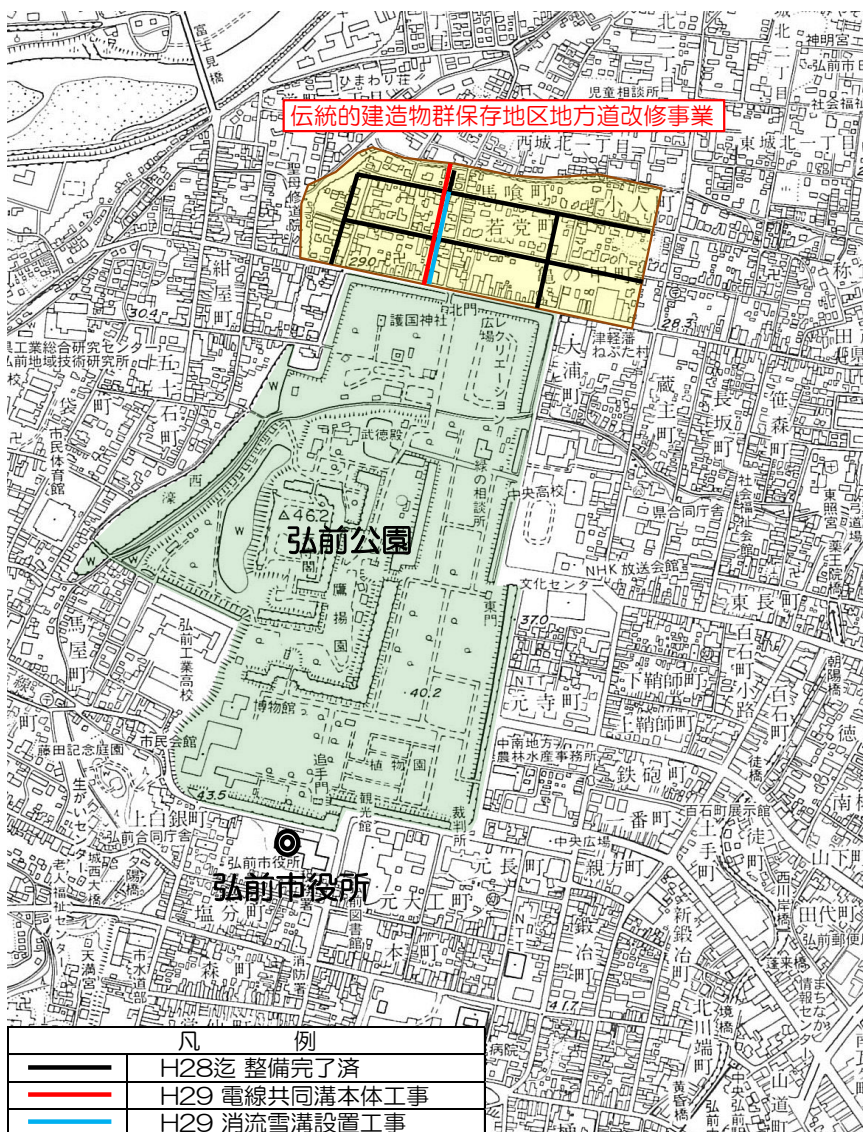
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

仲町地区において鷹揚公園(弘前公園)と一体となった景観形成を図るため、電線共同溝本体工事と消流雪溝設置工事を実施。

電線共同溝本体工事 L=218m(全体整備率:100%)、消流雪溝設置工事 L=159.5m(全体整備率:99%)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・平成29年度で電線共同溝本体工事は完了となるが、その後、通信・電力事業者による工事に2年要するため、全ての事業が完了する時期は計画から1年遅れとなる見込みである。

状況を示す写真や資料等



【無電柱化状況写真】



整備後



【消流雪溝整備状況写真】



整備後



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 本路線は、ねぷた運行のメインルートになっているほか沿道には歴史的建造物が建ち並んでおり、景観を阻害している電線類を地中化することにより、回遊性及び景観の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

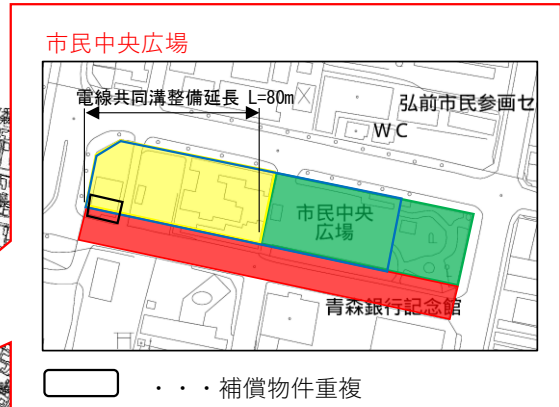
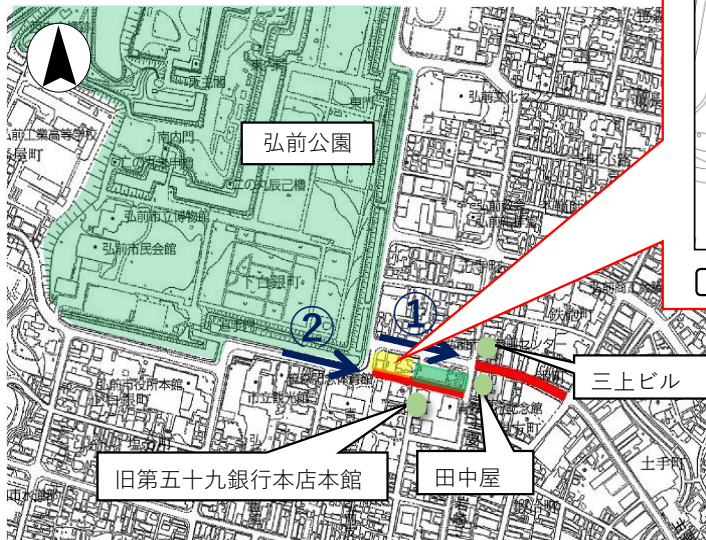
県所管である当事業の整備区域内、延長約80mにおいて、電線共同溝整備工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

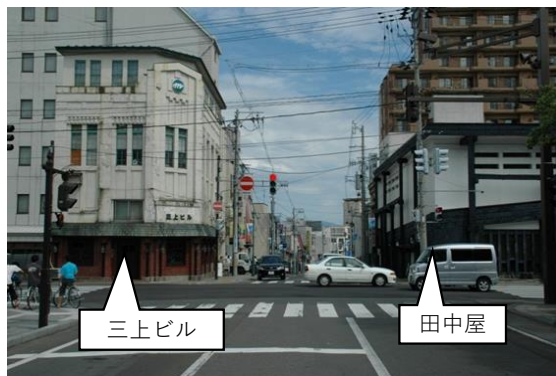
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 市民中央広場整備事業の拡張部分と重複している補償物件について、県と市の調整がまとまったことから、建物所有者と移転時期を調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



事業箇所	
主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	
市民中央広場整備事業	既設:
	拡張予定:
	整備予定:



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、当市の観光・文化の拠点となっている追手門広場の老朽施設等の改修により、弘前公園周辺の良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

広場内に立地する市立観光館のリニューアル工事の計画と合わせ整備内容の検討を庁内で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

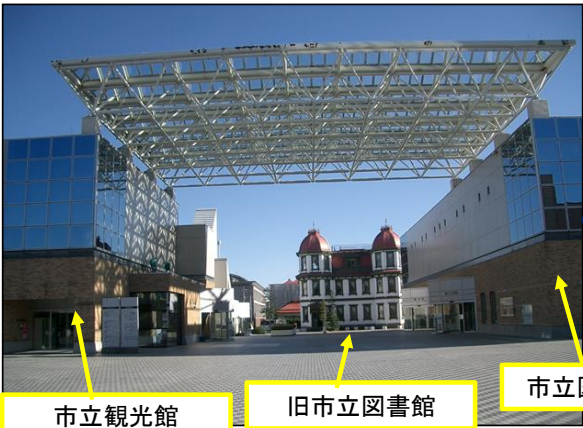
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

市立観光館のリニューアル計画との調整を図るため、大規模な広場改修事業の着手に遅れが生じているが、施設を適正に管理するため、必要最低限の修繕を施すなど良好な景観を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【追手門広場】

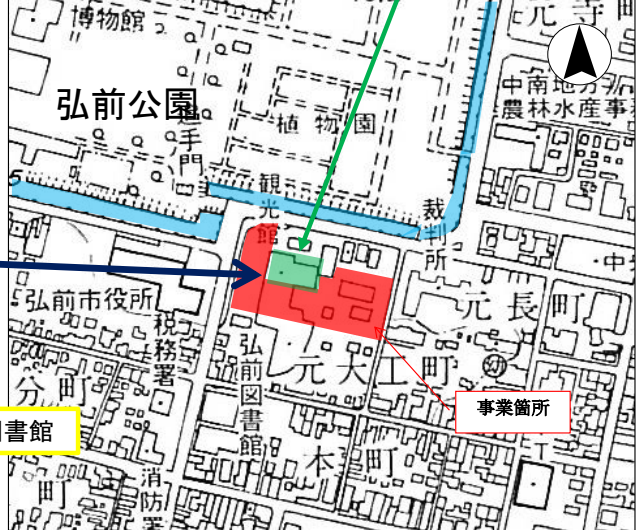


市立観光館

旧市立図書館

市立図書館

【事業位置図】



市立観光館

市立図書館

事業箇所

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
趣のある建物指定制度		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 当市の風情を醸し出している古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信することで、弘前の新たな魅力の発見など歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等でガイドマップを配布した。(配布部数 約20,000部)
 また、外国人観光客への対応のため、多言語版のガイドマップを作成し、観光施設等で配布を行った。(英語版、中国語版(繁体・簡体)、韓国語版 各10,000部)

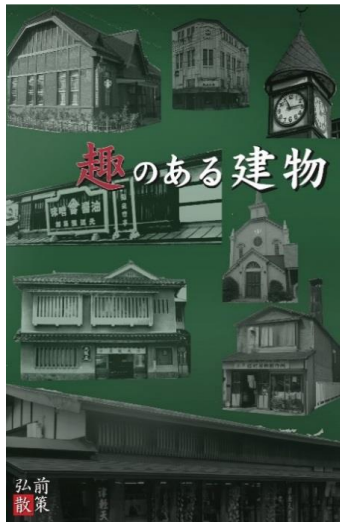
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

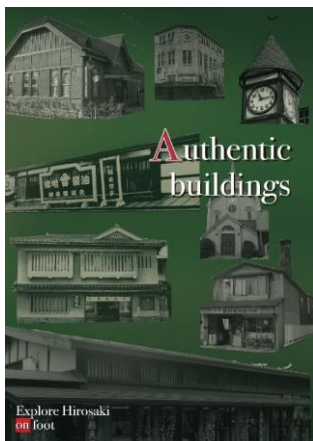
状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【趣のある建物散策ガイドマップ(4言語版)】
※写真は英語版

【弘前観光コンベンション協会 設置状況】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
弘前市民俗芸能保存育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成18年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 獅子舞や登山ばやしなどの保存団体の育成活動に必要な経費の一部を補助することにより、民俗芸能の保存継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽地方特有の民俗芸能の保存伝承に取り組む団体に対し、後継者育成活動経費(講師謝金、会場借上料等)や、芸能発表会経費(会場借上料、交通費、運搬費等)の一部を補助。また、市指定無形民俗文化財保存団体の活動に必要な用具・衣装の修繕料及び購入費の一部を補助。
 平成29年度は、松森町津軽獅子舞保存会(本染め着物の購入費)と鬼沢公民館(二十九日堂祭典侍用衣装の購入費)に対し補助金を交付。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要である。
------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

状況を示す写真や資料等

【本染め着物】



【典侍用衣装】



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗技術の研鑽のための古技法再現に必要な漆などの材料費及び後継者育成に必要な用具確保や、講師謝金などの経費の一部を補助することにより、伝統工芸の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。
 なお、平成29年10月2日に「津軽塗」が重要無形文化財の指定を受け、保存会が保持団体の認定を受けた。
 <津軽塗技術保存会 平成29年度活動状況>
 (1)後継者育成:塗研修生3名、木地研修生4名
 (2)重要無形文化財指定・保持団体認定記念展覧会:平成29年11月25日～平成30年1月21日
 弘前市立博物館特別展示室 参加人数:延べ1,773人
 (3)シンポジウム:平成29年12月9日 弘前市民会館大会議室 参加人数:110人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

保存会の津軽塗技術伝承については体制の構築が急務であるが、市としては今後も引き続きより一層のサポートを行っていく。

状況を示す写真や資料等

【後継者育成研修(塗研修)の様子】



【記念展覧会の様子】



【シンポジウムの様子】



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
集約促進景観・歴史的風致形成推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金

計画に記載している内容 津軽歴史文化資料展示施設の整備により、後世への歴史的風致の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

施設建築工事は内外装工事や設備工事を行い平成29年12月に完成し、展示工事は展示ケース工事や展示システム工事などを行い30年2月に完了した。施設名称は公募し審査を経て「高岡の森 弘前藩歴史館」とし、開館日を平成30年4月1日と決定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【高岡の森弘前藩歴史館 外観】



【来館者玄関】



【エントランスホール・受付】



【展示室】



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的風致の活用と国際観光の振興に関する事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業費補助金

計画に記載している内容 広域観光周遊ルート形成に向けた取組の一環として、国外からの来訪者の受入環境整備を行います。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

説明板等の多言語化
 【津軽歴史文化資料展示施設等案内看板設置事業】
 高照神社境内 施設案内板1基
 県道 案内看板2基 誘導看板7基
 市道 誘導看板1基
 【岩木地区歴史的建造物説明板多言語化事業】
 高照神社境内 説明板2基

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【津軽歴史文化資料展示施設等案内看板設置事業】



施設案内板



誘導看板



案内看板

【岩木地区歴史的建造物説明板多言語化事業】



高照神社社殿多言語説明板



高照神社廟所多言語説明板

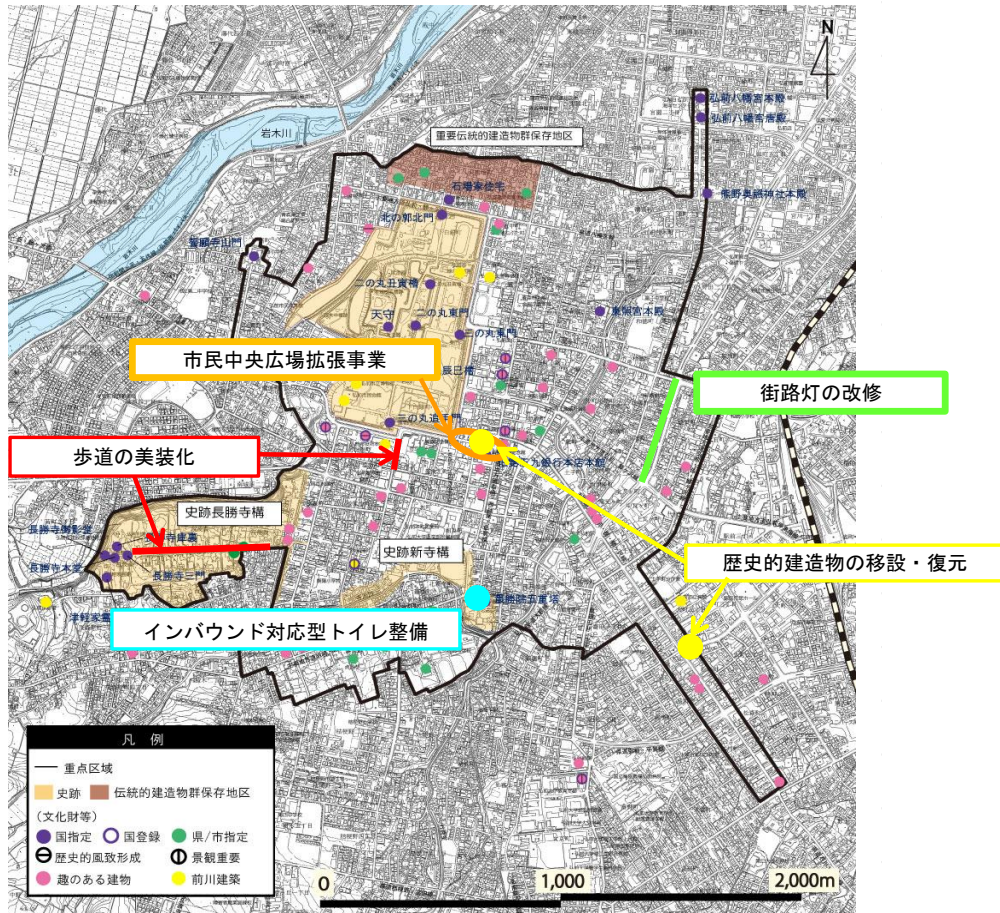
※H27～H29累計 多言語案内看板等設置基数(市内全域) 50基
 うち、景観まちづくり刷新支援事業で整備 13基【再掲】

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
景観まちづくり刷新支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～平成31年度		
支援事業名	景観まちづくり刷新支援事業		
計画に記載している内容	JR弘前駅から弘前公園、禅林街を結ぶルート上においてレトロモダンな観光周遊ルートを形成するため、歴史的建造物と一体となったより良い街並み景観を形成します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
① 観光周遊ルート上への歴史的風致形成建造物の移設・復元 【歴史的風致形成建造物移設等事業】 (事業概要: JR弘前駅から主要観光スポットである弘前公園や禅林街へと続く周遊ルート上において、要所に歴史的建造物を移設、復元) H29年度は設計を実施			
② 歩道の美装化 【上白銀・新寺町線歩道改修事業】 (事業概要: 市道上白銀新寺町線及び禅林街の歩道の美装化を行う) H29年度は市道上白銀新寺町線の用地測量を実施			
③ 市民中央広場拡張事業(再掲) 【市民中央広場拡張整備事業】 (事業概要: 市民中央広場を景観形成重点地区にふさわしい広場として拡張整備) H29年度は実施設計、移転補償のための営業調査等を実施			
④ 街路灯の改修 【エントランスロード街路灯改修事業】 (事業概要: 市道菅町線において老朽化がすすむ街路灯を50基整備) H29年度は照明設計にあたり、既設照明の照度等の調査分析を実施			
⑤ 観光案内板等の多言語化 【歴史的建築物多言語説明板整備事業】 (事業概要: 弘前市内各所の重要文化財建造物に多言語説明板を11基整備) H29年度 整備完了 【周遊性向上のための多言語説明板整備事業】 (事業概要: 弘前市内各所に観光案内板・観光案内誘導標識の多言語説明板を53基整備) H29年度は契約締結前の設計段階における工法の選択を実施 【歴史的まちなみ多言語説明板整備事業】 (事業概要: 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区に多言語説明板を2基整備) H29年度 整備完了			
⑥ インバウンド対応型トイレ整備 【インバウンド対応型トイレ整備事業】 (事業概要: 南塘町バスプールに、バリアフリー化、洋式化された公衆便所を整備) H29年度は設計を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-		

【事業位置図】



【市民中央広場拡張整備事業】



【上白銀・新寺町線歩道改修事】



【歴史的風致形成建造物移設等事業】

○移設



○復元



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理・整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	弘前にのこる歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○文化財の保存</p> <p>①重要無形文化財(工芸技術):1件指定【津軽塗】</p> <p>②弘前市指定文化財:1件指定【平川家住宅】</p> <p>③埋蔵文化財:詳細分布調査を1地区で実施。</p> <p>④民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(2団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。</p> <p>⑤大石武学流庭園調査事業 事業期間:H28~30年度 H29年度は、H28年度に引き続き、個々の庭園の詳細測量等の調査を実施した。</p>			
<p>○文化財の修理・整備</p> <p>①弘前城跡整備</p> <p>1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲) ・弘前城本丸石垣整備事業(H19~36年度) H29年度は、石垣解体工事を実施し、12月9日までに約4割を終えた。</p> <p>2)鷹揚公園[史跡津軽氏城跡]整備事業(H20~29年度)(再掲) H29年度は、H28年度に引き続き、二の丸周辺整備に係る本発掘調査等を実施した。</p> <p>②旧弘前偕行社保存修理事業 事業期間:H24~31年度 H29年度は、棧瓦葺やドーマー窓復原などの屋根工事のほか、内外壁の下塗り等を実施した。</p> <p>③革秀寺保存修理事業 事業期間:H27~29年度 津軽為信霊屋の彩色塗装の塗り直し等を実施し、事業が完了した。</p> <p>④岩木山神社社務所保存修理事業 事業期間:H29 茅葺屋根の一部葺き直しや箱棟補修等を実施し、事業が完了した。</p> <p>⑤乳井神社社殿保存修理事業 事業期間:H28~29年度 屋根の葺き直しや建具の修理等を実施し、事業が完了した。</p> <p>⑥藤原信政公霊所木柵保存修理事業 事業期間:H29 部材の取り替え及び塗装を実施し、事業が完了した。</p> <p>⑦旧弘前偕行社文化財建造物等活用地域活性化事業 事業期間:H28~31年度 H29年度は、旧弘前偕行社の設備改修工事を実施した。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。		

文化財の修理・整備

②旧弘前借行社保存修理事業
屋根工事の様子



正面マンサードやドーマー窓廻りの組み立てのほか、棧瓦葺き・鉄板葺き、上塗り塗装などを実施した。

左官工事の様子



内外壁の下塗りのほか、天井蛇腹の亀裂部分の補修や破損部分の下地付を行った。

③革秀寺保存修理事業
【施工前】



屋根はこけら板の損耗や板の乱れが見られ、正面唐破風部分の軒付にはカビが繁茂していた。また、漆塗及び彩色は直射日光により退色や変色が目立っていた。



【施工後】



屋根はこけら板の全面葺替や軒付補修を行った。また、現況の塗装を掻き落として塗り直しを行った。 竣工：平成29年12月26日

④岩木山神社社務所保存修理事業
【施工前】



社務所に隣接して立つマツとスギが強風で倒れたことにより、鬼板や箱棟、茅葺などが毀損していた。



【施工後】



茅屋根の葺き替えや垂木・化粧すだれの取り付けのほか、箱棟・鬼板の修理を行った。 竣工：平成29年11月30日

⑤乳井神社社殿保存修理事業

【施工前】



軸部がゆがんで柱の傾斜が進み、屋根は老朽化が進んでいた。

【施工後】



建入れ工事や腐食した柱の取り替えのほか、カラー鋼板で屋根を葺き直した。

竣工：平成29年11月28日

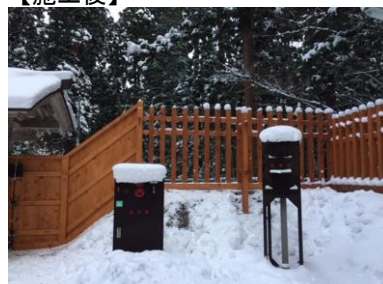
⑥藤原信政公霊所木柵保存修理事業

【施工前】



土台の腐朽や部材の毀損がみられ、老朽化が著しかった。

【施工後】



腐朽した土台・部材を取り替えた。

竣工：平成29年12月19日

⑦旧弘前偕行社文化財建造物等活用地域活性化事業
設備改修工事の様子



空調設備や照明設備の床下配線工事などを行った。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

重点区域にある高照神社宝物殿に収蔵されている重要文化財工芸品を中心とした保存・活用施設を建設し、弘前城跡ではガイダンス機能を持った二の丸利活用施設(弘前城情報館)を設置する。また、仲町伝統的建造物群保存地区内で、電線類の地中化を進める。さらに、重要文化財(建造物)の防災設備の更新を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○保存活用を行うための施設の設置

- ①津軽歴史文化資料展示施設の整備について、H29年度は施設建築工事として内外装工事や設備工事、展示工事として展示ケース工事や展示システム工事などを行い、事業が完了した。(再掲)
- ②二の丸利活用施設の整備について、H29年度は新築工事に着手し、事業が完了した。(再掲)

○文化財の周辺環境の保全

- ①伝統的建造物群保存地区地方道改修事業について、H29年度は電線共同溝本体工事が完了した。(再掲)

○文化財の防災

- ①文化財防火デーに合わせて重要文化財弘前城天守において防災訓練を実施。
- ②旧岩田家住宅防災設備設置事業
事業期間:H28~29年度
H29年度は、既存の防火水槽等の解体や新たな消火装置の設置を実施して事業が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

-

状況を示す写真や資料等

文化財の防災

- ①文化財防火デーに合わせて1月26日に、重要文化財弘前城天守において防災訓練を実施。



- ②旧岩田家住宅において、消火設備機械室を新築し、消火装置を設置した。



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
保存・活用の普及と啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民族芸能等の記録保存を行うと共に、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○保存・活用の普及と啓発</p> <p>①「旧石戸谷家住宅工事見学会」開催。 復元工事の進む旧石戸谷家住宅の工事見学会を実施。 6月3日に実施。参加人数:65人</p> <p>②「文化財庭園フォーラム及び大石武学流庭園めぐりバスツアー」開催。 大石武学流庭園に関する講演や保存管理に携わる庭師の研修報告のほか、弘前・黒石・平川の3市に所在する大石武学流庭園をめぐるバスツアーを実施。 6月25日に実施。参加人数:延べ235人</p> <p>③「体験発掘授業」開催。 市内の小学生を対象に、発掘体験を学校教育の支援として実施。 6月30日に実施。参加人数:16人</p> <p>④「史跡堀越城跡整備現場体験学習及び現場見学会」開催。 地元の小学生を対象に、整備の進む旧石戸谷家住宅の土壁塗り体験及び堀越城跡の整備現場の公開を実施。 7月7日、10月26日に実施。参加人数:延べ160人</p> <p>⑤「ちびっこ縄文講座」開催。 市内の小学生を対象に、土器づくり体験や史跡大森勝山遺跡でのクイズラリーを実施。 7月30日、8月21日に実施。参加人数:延べ13人</p> <p>⑥「大森勝山じょうもん祭り」開催。 埋蔵文化財担当職員による解説付の史跡探検、史跡全貌を眺望できる仮設展望台の設置、野菜焼体験などを実施。 8月7日に実施。参加人数:228人</p> <p>⑦重要文化財革秀寺保存修理現場特別公開 保存修理実施中の本堂及び津軽為信霊屋の修理現場の特別公開、金箔押し体験を実施。 8月20日、10月8日に実施。参加人数:延べ99人</p> <p>⑧「ひろさき歴史体感ツアー」開催。 弘前城跡の石垣の石材産地(石切丁場)と本丸石垣及び堀越城跡と平川市大光寺城跡をめぐるツアーを実施。 8月26日、27日の2日間実施。参加人数:延べ71人</p> <p>⑨「砂沢遺跡シンポジウム」開催。 考古学の専門家による講演等を実施。 9月30日に実施。参加人数:146人</p> <p>⑩重要文化財旧弘前偕行社保存修理現場特別公開 保存修理実施中の旧弘前偕行社の修理現場を特別公開。見学人数を定めて3回実施。 11月3日に実施。参加人数:63人</p> <p>⑪「津軽塗 重要無形文化財指定・保持団体認定記念展覧会」開催。(再掲) 津軽塗の重要無形文化財指定及び保存会の保持団体認定を記念して展覧会を開催。 11月25日～1月21日に開催。参加人数:1,773人</p> <p>⑫「津軽塗シンポジウム」開催。(再掲) 有識者による講演や「津軽塗のこれまでとこれからのあゆみ」と題したパネルディスカッションを実施。 12月9日に実施。参加人数:110人</p> <p>⑬「まちなかクラフト村」開催。 市内の工芸品の展示・販売を実施。 さくらまつり期間中(4月20日～5月5日)など計6回実施。参加人数:9,462人。</p> <p>⑭その他学習支援及び一般説明等 小中学校の学習支援として弘前城本丸石垣解体工事現場見学会など文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。 実施回数26回 参加人数:2,948人</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。		

①「旧石戸谷家住宅工事見学会」

平成29年6月3日 参加人数:65人



②「文化財庭園フォーラム及び

大石武学流庭園めぐりバスツアー」
平成29年6月25日 参加人数:延べ235人



③「体験発掘授業」

平成29年6月30日 参加人数:16人



④「史跡堀越城跡整備現場体験学習及び現場見学会」

平成29年7月7日・10月26日 参加人数:延べ160人



⑤「ちびっこ縄文講座」

平成29年7月30日・8月21日 参加人数:延べ13人



⑥「大森勝山じょうもん祭り」

平成29年8月7日 参加人数:228人



⑦「重要文化財革秀寺保存修理現場特別公開」

平成29年8月20日・10月8日 参加人数:延べ99人



⑧「ひろさき歴史体感ツアー」

平成29年8月26日・8月27日 参加人数:延べ71人



⑨「砂沢遺跡シンポジウム」
平成29年9月30日 参加人数:146人



⑩「重要文化財旧弘前偕行社保存修理現場特別公開」
平成29年11月3日 参加人数:63人



⑬「まちなかクラフト村」
平成29年4月20日 ほか 参加人数:延べ9,462人



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
世紀の大改修弘前城石垣整備 天守台四隅に「イカ形」隅石	29. 7. 20	陸奥新報
津軽塗 重要無形文化財に	29. 7. 22	東奥日報
藤田記念庭園考古館 工芸品展示や喫茶きょう新装オープン	29. 7. 23	東奥日報
弘前・高照神社内の新宝物施設名称決定 高岡の森弘前藩歴史館に 来年4月開館へ整備	29. 9. 25	陸奥新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽塗の重要無形文化財への指定や、旧藤田家別邸倉庫(匠館(旧考古館))の新装オープンなど、歴史的風致の活用に関する話題が新聞で取り上げられた。歴史的建造物の活用や弘前城石垣整備事業を中心に、歴史的風致の維持向上の取り組みが市民等に周知された効果は高い。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後とも、計画の着実な推進により、実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やす。

状況を示す写真や資料等

(1) 陸奥新報 平成29年7月20日掲載



(2) 東奥日報 平成29年7月22日掲載



(4) 陸奥新報 平成29年9月25日掲載



(3) 東奥日報 平成29年7月23日掲載



(1)(4)陸奥新報社提供

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページのリンクは固くお断りします。

(2)(3) 東奥日報社提供

この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

景観ブース、景観フォーラムの開催

計画に記載している内容 地域資源の歴史的価値を市民一人一人が認識することは、自らのまちに誇りを持つとともに、市民レベルでの保全活動等にも繋がることから、歴史的風致を醸し出しているまちの資源を再発見できる取り組みを推進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

弘前大学総合文化祭において、当市が有する景観資源である歴史的建造物についての周知及び情報発信を行う景観ブースを開催し、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や地域資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

より良い未来の景観づくりについて楽しみながら考える機会となった。将来につながる継続的な景観保全のために、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【景観ブース(弘前大学総合文化祭)】
「前川國男建築から始まる日本の近代建築ツーリズム」



【ひろさき景観フォーラム(弘前市役所レストラン)】
「来て観て発見！？～もっと知ろう弘前史～」
平成30年2月4日 参加者約140名



評価対象年度 平成29年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 平成29年度弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時:【第1回】平成29年10月30日 【第2回】平成30年2月15日

(コメントの概要)

【第1回】

■ 議事の内容

・計画変更案について

日本基督教団弘前教会旧牧師館の歴史的風致形成建造物候補への追加
景観まちづくり刷新支援事業の追加

■ 計画変更についてのコメント

- ・閉店した店舗が計画に記載されているため、記載方法を検討してほしい
- ・旧藤田家別邸倉庫の名称を確認・整理すべき
- ・旧弘前市立図書館の移設に関して保存・保管上特段の配慮をしてほしい
- ・弘前城の歴史や教会の歴史、津軽塗の技法を詳細に計画に追記すべき

【第2回】

■ 議事の内容

・計画の進捗評価について

■ 計画の進捗評価についてのコメント

特筆すべき意見なし、原案のとおり進めてほしい。

第1回協議会の様子



第2回協議会の様子



(今後の対応方針)

【第1回】

- ・閉店した店舗について、記載方法を検討し修正
- ・旧藤田家別邸倉庫の名称については旧藤田家別邸倉庫(匠館)と確認。計画ではわかりやすいよう「旧考古館」も併せて記載
- ・旧弘前市立図書館の移設に関して、市民及び専門家会議でも検討されたが、保存修理について十分配慮する。
- ・教会の歴史については、計画本文中に記載あり。その他の記載については、計画全体のバランスを考慮して調整。
- ・計画変更については本協議会で出された意見を検討・修正し、平成29年11月28日付で変更申請、12月8日付で変更認定。